

『日本人の一生 通過儀礼の民俗学』

谷口貢・板橋春夫編著 八千代出版、2014年、2,300円+税

おやさと研究所教授

堀内 みどり Midori Horiuchi

人の一生にかかわる儀礼は「通過儀礼」と呼ばれてきた。生まれてから死ぬまで様々な儀礼がある。人の一生の節目となるような時期に行われてきたものである。日本では、1960年代の高度経済成長期の前後で、人々の生活や家族の様態が様変わりしたことはしばしば指摘される。同様に、通過儀礼のやり方や考え方も、高度経済成長期以後、大きく変化しているようである。

本書の編者でもある板橋春夫は、「1 生命観と通過儀礼」の冒頭で次のように述べている。

民俗学の存在価値の1つは、私たちの日常生活における民俗事象の解明にある。身のまわりの民俗事象がなぜ変わらずに残っているのか、あるいはなぜ変わったのか。変わったとすればその要因は何か、というような日常生活の疑問を解決するため、現代に軸足を置きながら過去の知識をたどる。民俗学は、眼前の生活文化が一昔前の生活文化とどのように連続し、あるいは断絶しているかを明らかにしながら、人びとの生き方 (way of life) を問う学問である。柳田国男 (1875 ~ 1962年) が創始した民俗学は、近代化の進展と共に成立し、変化の要因などに注目しながら庶民の生活文化の諸相を丹念に記録し、その意味を明らかにしてきた。その民俗学の重要な分野の1つが通過儀礼である。(1頁)

本書は、この民俗学の重要な分野の1つである通過儀礼について、11人の研究者が、12のテーマと3つの補論およびコラムを執筆している。

たとえば、「4 妊娠と出産の民俗」を執筆した鈴木由利子氏は、1950年当時自宅出産が普通に行われていた日本の出産の状況は、1960年を境にして急速に病院などの施設出産へと移行し、1970年にはそのような施設内分娩が96.1%に達したことに言及。その後の生殖技術などの急速な進展などに伴い、出産や生命の誕生そのものが医療化してきたこと、出産にかかわる諸々の選択肢が提供され、それを妊産婦が選択することが可能となっている現実を提示している。命を育むことに対する考え方も変化してきているのではないかと思わせる。

そのような現況を踏まえ、たとえば「子授け祈願」「安産祈願」あるいは「避妊の祈願と呪術」などの習俗について紹介・解説し、これらの祈願に象徴されるものを探っている。さらに産屋の習俗や産婆などに言及し、命の誕生という瞬間をどのように私たちが向かい合ってきたのかを教えてくれる。そうした民俗学的研究成果は、出産の失われた習俗の意味を私たちに提示し、現代社会において、あらためて生まれてくる命の尊さについて再考させる。

かつて「人生50年」と言われた日本人の一生は、近年では「人生80年」と言われるほど長寿になった。成年となって後の

時間、あるいは定年となったからの時間が多くなった。そうすると、人の一生の過ごし方も変わってくるのは当然といえる。

さらに日本で、しばしば話題となる晩婚化や晩産化、あるいは一生独身でいる人の割合の上昇などは、かつて一定の年齢に達したら、結婚し、子を授かり、その子を育てるといった普遍的だと思われてきた人の一生の過ごし方そのものが多様となっていることを示す。

本書は、日本人のこれまでの生活文化を多面的に理解することが、現在の生活の変化のありようを見直すために大切であると言う。日本人の民俗、すなわち私たちの祖先はどのように人生を考えてきたかを通過儀礼から学ぶことができる良書となっている。また、誕生から死にいたる民俗を、通して知ることができ、さらに、民俗学に関心がある人にとっては良い入門書となっていると思う。



本書の目次は以下の通りである (括弧内は執筆者)。

- 1 生命観と通過儀礼 (板橋春夫)
- 2 通過儀礼研究の歩み (谷口貢)
- 3 年齢の民俗 (板橋春夫)
- 4 妊娠と出産の民俗 (鈴木由利子)
- 5 子どもの成長 (猿渡土貴)
- 6 青年と成人儀礼 (宮前耕史)
- 7 結婚の民俗 (板橋春夫)
- 8 女性の民俗 (鈴木明子)
- 9 大人の民俗 (山崎祐子)
- 10 老いの民俗 (大里正樹)
- 11 葬送儀礼の民俗 (板橋春夫)
- 12 墓と先祖祭祀 (谷口貢)
- 補論1 食文化と通過儀礼 (板橋春夫)
- 補論2 病と通過儀礼 (越川次郎)
- 補論3 老いといきがい (佐野 (藤田) 眞理子)

また、コラム記事として、①エコー診断と胎児期、②名付けの民俗、③水子供養、④位牌と戒名が掲載されている。巻末には索引があり、最初から通して読むことも、また、関心のある項目が記載されているテーマから読むこともできる。随所に写真や図などが配されていて、具体的な民俗事象の理解をたすけてくれている。